

平成23年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・後期・A群	
	対象学科・専攻	電気電子工学科	
情報処理 IV (Information Processing IV)	担当教員	今村 成明 (Imamura, Nariaki)	
	教員室	電気電子工学科棟2階 (Tel. 42-9022)	
	E-Mail	n-imamu ※最後に@kagoshima-ct.ac.jpを付けて下さい.	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 履修単位 / 1単位		
週あたりの学習時間と回数	授業 (100分) × 15回		
〔本科目の目標〕 本科目では、様々なソフトウェアの開発に利用されているプログラミング言語、C言語を修得する。文法の理解を目標とする。			
〔本科目の位置付け〕 3年次の情報処理Ⅲの続きである。2年次の項目の基礎部分を修得していることを前提とする。本科目は5年次の情報処理Ⅴの基礎となる。			
〔学習上の留意点〕 プログラミングは、どれだけ多くのプログラムを作成したかによって、上達のスピードが変化する。そのため、本科目は例題、演習を主体となる。学生諸君には積極的に課題に取り組む姿勢をもってもらいたい。疑問が生じた場合は直ちに質問し、理解を深めることを要望する。			
〔授業の内容〕			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 文字の取り扱い 1.1 文字列と文字配列	8	文字配列への代入方法、EOSの意味を理解できる。 文字配列の初期化について理解できる。 文字配列の表示方法について理解できる。 文字列へのポインタについて理解し、ポインタを使ったプログラムを作ることができる。	p. 208-p. 219, p. 248-p. 255の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
1.2 ファイル入出力 --- 後期中間試験 ---	6	ファイルポインタ、およびファイルのオープン、ファイルオープン時のエラーチェック、ファイルのクローズの方法について理解できる。 ファイルからのデータの読み込み、書き込み方法を理解し、各種プログラムをつくることことができる。 授業項目1-1.1~1-1.2について達成度を確認する。	p. 290-p. 305の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
1.3 文字列の応用	6	標準関数を使った「文字から数値への変換」、「文字列のコピー」、「文字列の連結」、「文字列の長さの取得」、「単語単位への分解」の方法を理解できる。	p. 260-p. 265の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
2. 構造体 --- 後期期末試験 ---	8	構造体の宣言、構造体メンバへのデータ代入と参照、構造体配列の宣言と使用方法を理解し、プログラムを作ることができる。 構造体を関数値として用いたり、構造体を引数として用いたりする方法について理解し、プログラムを作ることができる。 構造体へのポインタの宣言と使用方法について理解し、プログラムを作ることができる。 typedefの意味を理解し、typedefを使った構造体の宣言ができる。	p. 268-p. 283の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違った部分を理解出来る。	
〔教科書〕「新版 明解C言語 入門編」 柴田望洋 ソフトバンククリエイティブ 〔参考書・補助教材〕			
〔成績評価の基準〕 中間試験および期末試験成績 (75%) + レポート成績 (25%) - 授業態度 (最大10%)			
〔本科 (準学士課程) の学習教育目標との関連〕 3-c 〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕 〔JABEEとの関連〕			

